

## 研究成果公開促進費の制度について

こちらの手引きは科学研究費助成事業（科研費）のうち、研究成果公開促進費の概要について解説したものです。応募内容等の最新情報は日本学術振興会のホームページをご確認ください。

### 1. 研究成果公開促進費とは

科学研究費助成事業のうち、研究成果の公開発表、学術研究成果の発信、データベースの作成・公開について助成し研究成果の公的流通を図るものです。

### 2. 研究成果公開促進費の研究種目について

研究成果公開促進費には次の種目があります。

※最新の情報は、日本学術振興会のホームページ等でご確認ください。

研究種目	研究種目の目的・内容
研究成果公開促進費	
研究成果公開発表	学会等による学術的価値が高い研究成果の社会への公開や国際発信の助成
国際情報発信強化	学協会等の学術団体等が学術の国際交流に資するため、更なる国際情報発信の強化を行う取組への助成
学術定期刊行物	学会又は複数の学会の協力体制による団体等が、学術の国際交流に資するために定期的に刊行する学術誌の助成 ※新規募集は行っていません
学術図書	個人又は研究者グループ等が、学術研究の成果を公開するために刊行する学術図書の助成
データベース	個人又は研究者グループ等が作成するデータベースで、公開利用を目的とするものの助成

### 3. 研究成果公開促進費のルールについて

研究成果公開促進費のルールは科学研究費助成事業のルールと同様です。

詳細は日本学術振興会のホームページ及び本学科学研究費助成事業取扱手引きをご覧ください。

### 4. 学術図書について

研究成果公開促進費のうち、本学の研究者に一番お問い合わせの多い研究種目である「学術図書」についてご案内いたします。

### 1-1. 助成対象

個人又は研究者グループ等が、学術研究の成果を公開するために刊行しようとする学術図書、又は我が国の優れた学術研究の成果を広く海外に提供するため、日本語で書かれた図書・論文を外国語に翻訳・校閲の上刊行するものが対象です。

なお、以下に該当するものは公募の対象とはならないので、ご注意ください。

- ・既に類似の成果が刊行されているもの
- ・既に学術誌等を通じて公表されている論文を単に集成し、刊行するもの
- ・学術研究の成果とは言い難いもの
- ・大学、研究所等の研究機関がその事業として翻訳・校閲・刊行すべきもの
- ・出版社等の企画によって刊行するもの
- ・市販しないもの
- ・十分に市販性のあるもの

### 1-2. 対象経費

対象となる経費は、学術図書の刊行に必要となる経費のうち、次に該当する経費のみとなります。

(1) 翻訳・校閲経費（ただし、当該事業の主体となる応募者本人及び研究者グループ等に参加している者への支出は対象外）

(2) 直接出版費のうち、以下の経費

①組版代、②製版代、③刷版代、④印刷代、⑤用紙代、⑥製本代、⑧CD-ROM 又は DVD-ROM 等の作成に係る経費（マスター作成代、ディスク代、製版代）

## 5. 年間スケジュールについて

時期	内容
前年度の9月中旬	学内公募説明会
	学内公募開始
前年度の10月下旬～11月初旬	学内応募書類締め切り
4月	交付内定 → 交付申請書の提出
6月	交付決定
	出版契約書の締結
翌年1月頃	状況報告書の提出
	実績報告書等の提出
3月頃	額の確定
	補助金の受領・支出

※稟議等の学内手続きの都合上、日本学術振興会のホームページ等で案内される締切日と一部異なる場合がありますので、ご注意ください。

**応募できる刊行経費の上限額や細かな留意等、詳細な情報は日本学術振興会のホームページ等で最新の内容をご確認ください。**